



秋高東京同窓会会報

秋田高校東京同窓会
08年9月初秋号



秋高東京同窓会会長 橋本 五郎

最近、ふるさとについて心配することはかりです。先日わが町の町長が上京し、町内の空き家が二六九戸にもほつている、どうにかできないものかと相談されました。全町で六三〇〇戸の町に、これだけの空き家があることに愕然としました。都内に住んでいる知人に「秋田はいい所だよ」と事あるごとに呼びかけています。そのあと鷹巣から角館までの秋田内陸縦貫鉄道の存続について、作家の西木正明さんや女優の浅利香津代さん、秋田県の関係者と話しあう機会がありました。なんとか残したいという皆さんの気持ちには切なるものがありました。ふるさととは確実に衰退の道をたどっています。

わが町の海岸で行われた水着コンテストの審査員という、いささか恥ずかしいイベントにも参加しました。できるだけ多くの方に会場に足を運んでもらえれば、ふるさとも活性化するだろうという気持ちもありました。審査員といっても、一万円の「審査員料」を払って審査にあたるということを直前に聞きました。でも応募した若い人が恥ずかしそうに水着姿で歩いている姿はとてもほほえましく思いました。

自分の生まれ育った土地で死に赴く。それが人間の自然な姿だと私は思います。ところが、我がふるさとに限らず、それは至難のことになっています。そういう政治はいけないと私は思います。ふるさとで生き生きと一生を終えることができるような大きな構想が今こそ示されなければいけないと思うのです。

いろいろな市町村の東京のふるさと会に出席する機会がありますが、高校の同窓会も同窓生同士が東京で親睦を深めるということにとどまらず、ふるさとに何がしかの貢献ができないものかと思わずにはいられません。今度の秋高東京同窓会の総会で、そんなことも話し合うことができればいいと思います。

東京同窓会の定期総会が、本年も五月に新宿・センチュリーエージェンシー東京にて開催されました。

本部より菊谷校長、山谷同窓会副会長、仙波事務局長に御出席をいただき総勢六十余名の参加者となりました。

恒例のゲストスピーチは、今もつとも旬な話題「G8洞爺湖サミットに向けての提言」というテーマで、吉村和就氏（昭42卒）にご講演頂きました。（別掲）吉村氏の専門分野である水環境について世界の状況、日本の現状をユーモアを交えながらも述べられ、環境の危機について深く考えさせられました。洞爺湖サミットを是非成功させて日本が環境保護の先進国になるよう我々も努力していきたいと思います。

次に、相変わらず活動的で全国のご活躍の橋本五郎会長（昭40卒）の挨拶。東京同窓会も故郷秋田のためにもっと活動しようという呼びかけがあり、多くの賛同の声がありました。

秋田高校東京同窓会 平成20年度 定期総会のご報告

平成20年5月21日(水)



つづいて、二木幹事長より事業報告と二十年度事業計画案の提案がありました。今年度の重点としては、特に秋高同窓会内外との交流を一層活発化する「秋田の酒を楽しむ会」の開催・現役大学生との交流会・在京秋田県高校同窓会連合会との協力関係）方針で、予算案とともに会場の拍手で承認されました。

引き続き懇親会にうつり、美味美食に舌づつみを打ちながら、各同窓生の近況報告に耳を傾けました。

〔創立55周年を迎えた「若い根っこ」の会〕
会長の加藤日出男さん（昭21卒）、第84回のコンサートを六月に開演される指揮者の佐藤菊夫さん（昭22卒）、NHK天気予報でおなじみの高田齊さん（昭38卒）等々〕

誰もが高校生のようにはつらつとしておりま

した。
短時間ながらも大変充実した催事で、なつかしの「天上はるかに」を斉唱しながら再会を約し解散をしました。

文責（二木）

シンガポール、水で世界制覇

話総
講5.21
より

グローバルウオータ・ジャパン

代表 吉村和就 (S42卒)

シンガポールは国を挙げて水(みず)産業の育成を推進している。その成果はめざましい。水資源の無い国がなぜ、こんな短期間で世界を席巻するほど、水産業を育てたのである。その戦略に触れてみたい。

シンガポールは、国内の水需要の50%以上をマレーシアから輸入している。2011年の水道料金改定を前にした予備交渉でマレーシア側から「現在の100倍なら供給する」と言われ驚愕

「国家存亡の危機」を肌で感じ、それから国家を挙げて水問題解決に乗り出した。

まず、海外向け交渉窓口、EDB(経済発展促進ビューロー)を強化し、世界の水処理会社に「シンガポール水処理プロジェクト」に参加しませんか」と呼びかけた。

その結果、シンガポールにはグローバル企業が60社ほど集結、PUBとの共同研究開始、また独自のR&Dセンターを開設している。もちろん法人税の優遇(日本は約41%だが、シンガポールは18%)がこの動きを加速している。かつて村上ファンドが本社をシンガポールに移転させたことも頷ける。金融資産の秘密保持を徹底しているのも、シンガポールの特徴である。例えば「他国から個人や企業の金

融資産の照会があつても、情報を出さない非協力的な国家」で知られている。

また政府の権限が強い。特に公務員の登用基準が素晴らしい。

「どの位、その人が国益強化に貢献したか」である。簡単に言うと「いかに合法的に海外からおカネ、ヒトを呼び込んだか」が昇進の評価基準である。シンガポールには地下資源はない、あるのは「人脈」と知恵 だけだ。

従って国を挙げて「新ビジネス創出差別なき外資の導入、外国企業の誘致」に取り組んでいる。その成果を上げた人間がトップに立つ。

その結果、今やシンガポールはコンテナヤード取り扱い世界一、IT産業、金融都市として世界に知られている。

その延長線上が、この「水で世界制覇を目指す、ウオータ・ハブ政策」である。

なぜシンガポールはあらゆる分野で国際的に強くなったのか、歴史を紐解くと31年間、政権の座にあった李光耀(リー・クワンユー)元首相に突き当たる。李氏は「私は日本を徹底的に研究した、日本は石油危機で沈んだと思つたが、逆に国を挙げて、それを乗り越え、本当の経済大国になった。日本はアジアの誇りだ、日本に学べ」と言い続け、今日のシン

ガポールの発展を築き上げた。

ではシンガポール経済発展の手本だった日本は今、どうなっているのか？

見る影も無い。91、92年の国際競争力調査(IMD)で世界第一位だった日本、07年には世界で22位、アジア地域でも6位と完全に没落した。(アジアの一位はシンガポール、2位香港、3位台湾、4位中国、5位マレーシア)

更に、IMF調査レポート「アジア主要国の一人当たりGDP」でも、日本は長年トップの座を、07年から、その座をシンガポールに明け渡すことになった。日本の経済は坂道を転げ落ちていく。

国も企業の「財務体質の改善、コスト削減」だけを目標で動いている。

これでは国も企業も変わることができない、すべて内向きの論理である。一刻も早く海外に開かれた、新しきビジネスモデルを創造し、「守りから攻めに転ずる気概」が求められている。今度は、日本がシンガポールに学ぼうではないか。(日本水道新聞に掲載された記事を筆者が再構成)



シンガポールにて森元総理を案内する筆者 (08年6月)



7月23日、アルカディア市ヶ谷において「秋高連(あきこうれん)在京秋田県高等学校同窓会連合会」が開催された。本年度総会は、加盟校43校中41校が参加し、来賓22名、各校出席者で総勢300名を超える盛会であった。秋田高校東京同窓会からは、橋本五郎会長(S40卒)をはじめ、横山樹静・秋山文平・西山格朗(以上、S30卒)、大本香津子(S31卒)、村山公士(S36卒)、藤井陽光(S41卒)、大野省治・宮腰良一・大森正高(以上、S42卒)の10名の皆さんが出席した。会場正面には、昨年製作した秋高連の旗が掲げられ、秋田高校東京同窓会や参加各校の旗が会場を取り囲む中、各校出席者が満席の会場を行き来し、旧交を温めた。

野清子氏(秋田北高)、北秋田市長岸部隆氏(能代高)からお祝いのご挨拶を頂いた。

今年の講演は、「秋田の底力と展望」活力ある秋田をつくるために」と題して国際教養大学教授勝又美智雄氏が講師として登壇した。秋田市に拠点を置く国際教養大学は、運営は県から独立した日本初の公立大学法人であるとのこと。講師の勝又氏は、九州大分県出身ながら、終の棲家は秋田にしたいという大の秋田ファン。秋田県民の根っからの明るさ・優しさ・欲のなさは、江戸時代の大飢饉でも餓死者は近隣県の10分の1であったという秋田の豊かさ起因すると説き起こし、次から次へと秋田県人も知らない秋田の全国一を紹介して、豊かな自然、魅力的な地場産業商品群、伝統的な芸能文化・祭礼行事など観光資源に恵まれた秋田は「第二の故郷」癒しの里」として将来を嘱望される地域であると力説された。

総会は、新年度から秋高連幹事長に就任した秋田高校東京同窓会幹事大野省治さんの力強い開会のことばで始まった。続いて上山紀子さん(秋田北高)の指揮で懐かしい「秋田県民歌」の斉唱があり、今年2期目を迎える友成穂秀会長(能代西高)から挨拶があった。また、来賓の秋田県教育長根岸均氏、前参議院議員小

次いで、首都圏秋田県人会連合会長長煙山力氏(横手高)の乾杯で懇親会が始まり、国際教養大学の第一期卒業生で「秋田プロバスケケットボールを作る会」事務局局長の水野勇気氏の熱いメッセージや、余興や、各校紹介があった。各校紹介では、秋田高校は他校を圧する多数の参加者が立ち上がり、大いに氣勢を上げた。懇親会は、万歳三唱と「ふるさと」の合唱で盛況裡に閉会した。(大森記)

08年度秋田高校東京同窓会定期総会フォトギャラリー 5/21



橋本五郎会長の挨拶



二木幹事長



秋田県高橋企画課長



大先輩! 加藤日出男さん



藤井陽光さん



佐藤菊夫さん



小柳輝芳さん



♪天下ほろかに
大平のG……

校歌斉唱



会員ひとこと

会社員との2足の草鞋で NPO法人を設立

NPO法人 金融知力普及協会
有明三樹子
(株)りそなホールディングス (二月)五日賀詞交歓会ゲスト

生きていくために「お金との付き合い」は避けられないもの。にも関わらず、学校や企業、また家庭の中でも教えられることのないこの教育の場を作ろう! 2007年、NPO法人金融知力普及協会を設立しました。まさに年金制度の改定と抜本的見直しが叫ばれ、新たな企業年金制度として、企業が毎月拠出するお金を従業員自らが「自己責任」で老後のために運用するという確定拠出年金制度の導入がスタートした年でした。しかしながら、国や企業が国民生活を守りきれなくなったからと言って「自己責任」を押し付けるのはおかしい。まずは、きちんとした教育が必要。これがNPO設立の背景です。

NPOの活動を通じ様々な発見がありました。「銀行に預けたお金は金庫に保管されている」「今取めている年金は、自分が受取る時のために保管され運用されている」という間違った認識を持った大人たちの多さにショックを受けたことも。だからこそ、昨年来のサブプライム問題で目減りしたとはいえ、日本に約1500兆円の個人金融資産がありながら50%強が預貯金、直接金融に向かうお金はわずか10%という現状が

打破されず、政府が掲げる「貯蓄から投資へ」の空しいスローガンに聞こえるのだと思います。

洞爺湖サミットをきっかけに環境問題を取り上げるTV番組などが増加しました。学校教育でも環境教育は充実しているようで、一人ひとりが環境問題の重要性を認識し、電気の節約、資源の無駄遣いの廃止といった取組みへの理解度は進んでいるようです。でも、私たちにできるのはそれだけでしょうか? お金との付き合いの中で、約1500兆円という金融資産を持つ私たちだからこそできることがあります。例えば、環境問題に積極的に取組まない企業の商品を購入しない、その企業の株式を買わないといった判断です。時にこうした判断は企業活動の継続を困難にする力となることもあります。

お金の付き合い方の中で、環境問題を考え、社会保障問題を考え、国や企業に頼ることなく、私たちの生活や社会をより良いものにしていく。この力=金融リテラシー(知力)を一人でも多くの人に学んでいただくよう、今後もライフワークとして、銀行員との2足の草鞋を続けていきたいと思ひます。

投稿募集中

日時 10月18日(土) 午後3:30~6:00
 受付 1:30より
 会場 アルカディア市ヶ谷
 東京都千代田区九段北 4-2-25
 TEL 03-3261-9921
 会費 6000円(学生1000円)
 定員 約150人(先着順)

2008
 10/18(土)

第2回

「秋田の酒で乾杯!!」のタビ

利き酒を楽しみながら、故郷を語ろう!

記録的な猛暑のさなか、秋田の夜を彩る
 竿燈まつりも盛況裡に終わり

さて、これから秋田はどこに向かうのか?
 地方経済の疲弊が叫ばれて久しいのですが、
 私達は故郷秋田のために何ができるのか
 ……。

東京在住の我々としては、よく冷やした秋田の銘酒(50~60種)を味わいながら、故郷について、地域興しについて、なによりも懐しい出会いを共にし、秋田の酒について語り合いたいと思います。

お酒についてのうんちく講座や秋高出身で創立35周年を迎えた「若い根っ子の会」会長加藤日出男さんと当会長読売新聞特別編集委員橋本五郎さんのトークショーも楽しみです。

秋田の方だけでなくお酒の好きな全ての県の方も誘い合わせて是非ご参加下さい。秋田のいぶりがっこや特産もお待ちしております。

参加ご希望の方は下記申込み用紙にご記入のうえ FAX か、「秋田高校東京同窓会」ホームページ上から mail でお申込下さい。
<http://www.shuko-ob.net/>
 (9月30日メ切)

連絡先 秋田高校東京同窓会事務局
 東京都港区六本木 3-1-26 柳ビル 9F
 鎌田会計事務所 鎌田 進
 TEL 03-5545-7775 FAX 03-5545-0087

主催 秋田高校東京同窓会
 共催 在京秋田県高校同窓会連合会(秋高連)
 協賛 秋田県酒造組合
 協力 秋田県東京事務所
 秋田市東京事務所

プログラム

1. お酒の講座
(秋田酒造組合技術指導員による)
2. トークショー
 加藤日出男さん (S21年卒)
 橋本五郎さん (S40年卒)
「今の若者、昔の若者」
3. 利き酒を楽しむ懇親会
4. 秋田の物産が当たる大抽選会
(ジャイアントグッズやズームイングッズも有)
*なお13時から15時までは「大学生と社会人の交流会」(就職相談、業界OB 社会人との懇親)も予定されています。詳細はホームページを

申込み書 FAX 03-5545-0087 (切らずにそのまま送って下さい。)

参加者御氏名		TEL		FAX	
御住所				mail	
出身高校	秋田高校	年卒	出身地域 ()	他の高校 ()	

「秋田の酒で乾杯!!」の夕べを開催します!

08年10月18日(土) 於アルカディア市ヶ谷(東京都千代田区)

皆様方に置かれましては、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年度に引き続き、秋田高校東京同窓会の主催で、秋田県を元気にするイベントを企画いたしました。

今回も秋田県酒造組合様の全面的なご協力をいただき、イベントを共催していただけることとなっております。

また、秋田県在京高校同窓会連合会(秋高連)様も共催していただく事となっております。

なお、今回も「学生と社会人の交流会」も行います。是非、若い方々のご参加をお願いいたします。

講演は大先輩・加藤日出男氏(昭和21年卒)にお願しております。主宰されている「若い根っこ」が今年で55周年を迎え、5月に盛大な式典を開催しました。永年にわたる会の活動を踏まえて橋本会長とのトークです。

昨年来から秋田を元気にする活動が盛んにおこなわれてまいりました。今回のイベントも秋田を「宣伝」する意味で、ご参加者を広げていきたいと存じます。

是非、各方面の団体や個人の皆様のご協力を仰ぎ、皆様のご協力とご賛同を得まして、より多くの方のご参加をお願いいたします。

敬具

秋田高校東京同窓会 会長 橋本五郎

幹事長 二木 猛

「秋田の酒を楽しむ会」実行委員長

宮腰亮洸

(四頁参照)

日時：08年10月18日(土)
 13:00～15:00 学生と社会人との交流会
 15:30～18:30 秋田銘酒・利き酒の会及びトークショー

会場：アルカディア市ヶ谷(東京都千代田区) TEL03-3261-9921

主催：秋田高校東京同窓会
 会費：6,000円(学生1,000円)
 共催：在東京秋田県高校同窓会連合会
 協賛：秋田県酒造組合
 協力：秋田県東京事務所
 秋田市東京事務所

母校情報 東北大会・全国大会 出場および結果

運動部	
インターハイ および 全国大会	
テニス部 << インターハイ >>	○男子団体 ○男子シングルス 佐々木 ○男子ダブルス 佐々木・嵯峨
山岳部 << インターハイ >>	○縦走競技
東北大会	
テニス部	山形県総合運動公園 ○男子団体 第3位 ○男子シングルス ベスト8 佐々木 ○男子ダブルス 第3位 佐々木・嵯峨
卓球部	横手市 ○男子団体 初戦敗退 ○男子ダブルス 3回戦進出 菊地・伊藤 ○男子シングルス 初戦敗退 伊藤 初戦敗退 加藤
ラグビー部	いわき市 ○Ⅱ部 3位
柔道部	○男子個人66kg級 初戦敗退 近藤

剣道部	酒田市 ○男子団体 ベスト8 ○男子個人 初戦敗退 伊藤
陸上競技部	仙台市 ○100m 予選5位 藤澤 ○800m 準決勝6位 田口 ○1500m 予選5位 田口 ○3000m 障害 決勝12位 尾形 ○400m R 準決勝3位(高橋、佐渡、島山、藤澤) ○棒高跳 決勝13位 船木 ○走幅跳 決勝16位 佐渡 ○混成八種 決勝14位 藤井
ゴルフ	○5位 西館
文化部・委員会	
将棋部	<< 全国高校総合文化祭 >> ○新聞部門(佐藤・鈴木・佐々木)
文芸部	<< 短歌甲子園 >> ○(清野・久島・金森)
新聞委員会	<< 全国高校総合文化祭 >> ○新聞部門 高橋・茂木
放送委員会	<< NHK全国放送コンテスト >> ○朗読部門 佐藤 ○研究発表部門

秋高東京同窓会 Information

1. 現役大学生と社会人との交流会
(就職情報、進路相談、業界情報等々)
08.10.18(土) 13:00～15:00
於：アルカディア市ヶ谷
2. 「秋田の酒で乾杯!!」の夕べ
(秋田銘酒利き酒の会)
08.10.18(土) 15:30～18:00
於：アルカディア市ヶ谷 会費 6,000円
3. 09年度賀詞交歓会
09.1.23(金) 18:30～21:00
於：アルカディア市ヶ谷 会費 7,000円
4. 09年度定期総会
09.5.27(水) 18:30～21:00
於：センチュリーエージェンシーホテル(西新宿) 会費 7,000円

是非積極的に参加してください。先輩後輩の絆が広く深くなり、思いもかけないチャンスになるかもしれません。

なんつとがすべ! 秋田内陸線シンポジウム

～利用促進緊急アピール～

日時 08年9月5日(金)
 午後1時30分～4時
 会場 秋田内陸線 阿仁合駅
 「北秋田市阿仁ふるさと文化センター」

第一部 1時30分～
 「秋田内陸線利用促進緊急アピール」
 浅利香津代・西木正明・橋本五郎

トピックス

主 催：秋田の未来を考える文化人会議
 世話人 橋本五郎
 連絡先：事務局 電話090(2173)2591 武内
 FAX048(824)5626

第二部 2時30分～
 【秋田内陸線シンポジウム】
 ひざを交えて話しをする会
 テーマ【なんつとがすべ!内陸線】
 モデレータ：橋本 五郎(読売新聞特別編集委員)
 パネリスト：浅利香津代(女優)
 西木 正明(作家)
 「秋田内陸線」よりパネリスト

「土風炉」六本木俳優座地下1階
 TEL03-5451-4133
 (その都度ホームページに開催案内を
 します) 以上 (二木)

参加自由、大歓迎です。次回は9月12日(金) 18:30分です。

橋本会長も時間の都合の着く時は参加します。幹事以外の方でもちよつと様子を見てみようか、またたまには同窓生と一杯飲みたいないという方は是非参加してください。

15人くらいの幹事が参加します。

現在東京近県での秋高卒業生(同窓生)は把握しているところで二二〇〇～二四〇〇人おり、これらの人々全員に会報を送付しております。幹事会では一人でも多くの同窓生が参加できるような企画を考えております。定例幹事会は奇数月の第2金曜日、18:30分より六本木「土風炉」で行なっております。毎回10

幹事会便り